

問一						問二		問三				問四			
a	b	c	d	A	B			10点				12点			
賢	所望	概要	短縮	反復練習	基本動作			10点				12点			
各3点								10点				12点			
1	2	3	4	5	6			10点				12点			
（例1）「評価」と呼ばれる関数を設定し、反復動作の中でその値が最大または最小となるよう調整を行う仕組み。（四十八字） （例2）あらかじめ設定された評価関数の値を最大または最小にするよう動作を調整し続ける仕組み。（四十二字） 【採点基準】 以下の内容を捉えて説明していること。 ①「評価」と呼ばれる関数を設定していること。 【5】 ②最大、最小になるように調整を行う仕組みであること。 【5】						（例1）人間の学習が意欲や試行錯誤に基づき柔軟に発展するのに対し、ロボットの学習は評価関数や報酬・罰に基づいて設定された状態と行動の枠内で最適化を行う仕組みであり、その内容や範囲が枠組みによって制限される。（九十九字） （例2）ロボットの学習は評価関数に従って試行を繰り返し行動を最適化するものであるが、その過程はあらかじめ設定された状態や行動の範囲に依存しており、意欲や経験に基づき柔軟に発展する人間の学習とは本質的に異なる枠組みである。（百六字） 【採点基準】 人間の学習とロボットの学習を対比させながら以下の内容を捉えて説明していること。 ①学習の原動力【6】 ○人間・・・意欲や願望（内発的） ※そうしたいという意欲（願望） ※人間の学習の原動力である「・・・をしたい」 ○ロボット・・・評価関数や報酬・罰（外発的） ※「評価」と呼ばれる関数をあらかじめ設定しておく、反復動作を繰り返しながら、その値が最小あるいは最大となるように動きの調整を行う ②学習の仕組み【6】 ○人間・・・経験や反復を通じて自らコツを習得する柔軟なものであること。 ※経験から学ぶことは人間（生き物）にとって大切な習性 ※反復練習によって投げ方のコツを自ら学ぶ ○ロボット・・・あらかじめ設定された枠組みの中で最適化を行うこと。 ※状態（ロボットを取りまく環境、あるいはロボットの内部状態）と行動（動作）の組を多数用意しておき、行動がもたらす効果を評価し、その評価値に応じて組み合わせを変えながらその値が高くなるような行動を探索していく手法									

合計42点

受験校種	中	教科科目	国語	受験番号						
------	---	------	----	------	--	--	--	--	--	--

問一				問二				問三				問四
d	c	b	a	10点				12点				8点
獲物	閑散	眺望	遮	各3点				イ				
12	11	10	9	13				14				15
(例) 初めは、まだ容易に体勢を立て直せると思っていたが、ひじや背中が地面に着くまで滑ったことで、何とかして滑落を止めようと思うようになった。 (六十七字) 【採点基準】 ※傍線部①から②までの「自分」の心情の変化が明らかになるように、以下の点について捉える。 ○①については、容易に体勢を立て直せると余裕があったことについて記述している。 【5】 ○②については、ひじや背中が地面に着いたことで、慌てていることについて記述している。 【5】				(例1) ただ近道をするために傾斜を滑ったが、転んでもなお思いつきで再度滑ったことが、自力で施す術がない程の危険につながってしまったこと。 (六十四字) (例2) 近道をしたという軽い気持ちで坂道を滑っただけだったが、危険な目に遭ったことで、不確かな危うさがいつもそばにある実感をもったこと。 (六十五字) 【採点基準】 ※「近道をするために傾斜を滑ったこと」、「転んだにも関わらず、引き返さずに再度滑ったこと」、「自力で止められない程滑り、崖から落ちそうになるくらい危険な目に遭ったこと」の順序で、起こった出来事や「自分」の心情について説明している。 【完全解10】								

合計42点

受験校種	中	教科科目	国語	受験番号					
------	---	------	----	------	--	--	--	--	--

1 2 点										4 点	1 0 点										8 点	5 点	三
問五										問四	問三										問二	問一	
(例1) 自分の過ちや罪を隠せば、かえって罪が重くなり状況は悪化するが、正直にそれを明らかにして反省すれば、その過ちは許され、やがて消えていくということ。(七十二字) (例2) 罪や過ちを隠せばかえって重くなるが、正直にそれを明らかにして悔い改めれば軽くなることから、自らの過ちを隠さず正直に認めてよく反省すべきだということ。(七十四字) 【採点基準】 ・「過ち(罪)」を隠すと重くなり、正直に明らかにすると軽くなるという対比が書かれていること。【6】 ・「正直に明らかにし、反省すべき」という行動を含めて教訓としてまとめていること。【6】										工	(例) 相手の主張を受け入れて、自らの負けを認めた地頭の正直で立派な態度に心を打たれたから。(四十二字) 【採点基準】 ・「相手の主張が正しい」もしくは「道理にかなう」と認め、「争わず自ら負けを受け入れた」という内容を書くこと。【5】 ・「正直であることに心を打たれた」や「潔いことに感心した」など、人物に対する評価と感情を書くこと。【5】										自分から負けと言った人は、まだ聞いたことがない。	地頭	
20										19	18										17	16	

(五枚のうち三)

合計39点

受験校種	中	教科科目	国語	受験番号					
------	---	------	----	------	--	--	--	--	--

四

(五枚のうち四)

1 2 点		8 点	6 点	6 点
問四		問三	問二	問一
【採点基準】 光太郎が詩に込めた思いについて、詩の中から複数の叙述を取り上げて、次の点について述べていること。 ○詩の中から取り上げる叙述について【6】 ○二箇所以上の叙述を取り上げていること。 ○光太郎が詩に込めた思いについて【6】 それまでの常識や当たり前にとらわれず、自立して自分の人生を生きようとする決意が、叙述を根拠に述べられていること。		エ	ウ	口
				語
				自
				由
				詩
		23	22	21

合計32点

受験校種	中	教科科目	国語	受験番号					
------	---	------	----	------	--	--	--	--	--

問三			問二		問一				
③	②	①	②	①	⑤	④	③	②	①
ウ	ア	キ	イ	エ	ソ	オ	イ	ク	コ
各 3 点									
34	33	32	31	30	29	28	27	26	25

(五枚のうち五)

合計30点

受験校種	中	教科科目	国語	受験番号					
------	---	------	----	------	--	--	--	--	--